

近畿工業 株式会社

80社超の協力企業ネットワーク
で顧客の課題を解決

期 納
相 談
企 画
力 自
信 有
コ ス
ト 相
談
試 作
可 小
ロ ッ
ト
量 産
対 応



材料の切断から完成までの全工程をほぼ自社で完結した製品

業務
内 容最新設備と技術者が
生み出す高精度と提案力

油圧シリンダーの金属部品を中心とする産業機械部品の精密加工を手掛ける。コンピュータ数値制御の最新設備とともに、豊富な経験・知識を有するプロ集団が生み出す高い加工精度と提案力が自慢。ネットワークの形成により材料から表面処理までのプロセスをほぼ自社完結しており、「困ったときは何とかしてくれる」という顧客の評価が、同社のソリューション能力の高さを示している。



最新設備とプロ集団の豊富な知識をベースにした高精度の金属部品

強 み

失敗の経験をもとに
最適な工程提案力を蓄積

かつて大量生産から小ロット生産へ舵を切ったが、扱い品種の拡大に伴う段取り替えや工数の肥大化により経営悪化を招いた経験を持つ。この経験から工程集約の知

人材
育 成困り事を解決する
「ハイテク村の鍛冶屋」

恵と複合機の活用を積極化。今では顧客に最適な工程を提案できるまでの数々の現場管理ノウハウを蓄積することに。複合旋盤、2軸旋盤、マシニングセンタを中心とした社内加工技術に加え、80社を超える協力会社とのネットワークが、高い提案力の背景だ。

注目されるのは社員の高い定着率。要因の一つが、技術だけでなく独自の人間力形成プログラム。好奇心、行動力、遂行力、ポジティブ思考、コミュニケーション能力の5つからなる人間力形成の着目点を明確化。システムやデータだけに依存しない、人を中心にしたものづくりを掲げる。田中聡一社長は「ハイテク村の鍛冶屋構想」と命名し、ハイテクを駆使しながらも、人として信頼されて、地域の困りごとを解決する鍛冶屋のような人間技術集団を目指すという。

今後の
展 望エンドユーザーに近い
領域への展開を模索

現在、最終セットメーカー企業は顧客の多くを占めるが、将来的には市場ユーザーに近い領域、完成品に近いところでのビジネス展開を志向する。このため日本式ものづくりをベースにした自社の強みをブランド化し、細かいところに手が届くニッチ市場で可能性を追求。攻めの姿勢を強めて企業体質の強化に努める方針だ。

COMPANY PROFILE

近畿工業株式会社

大阪
25ISO 9001
ISO 14001当社の
歴史

大阪市港区で建築金物、農機具、自動車部品の製造販売で創業。昭和39年に東大阪市に移転し、理美容関連の油圧シリンダー製品を足掛かりに、NC化設備の充実と事業分野の拡大、人材の育成に取り組んでいます。



お客様の想いをカタチにするために、
最適な工程を提案します。

代表取締役 田中 聡一さん

■主な事業内容

マシニング加工、複合旋盤加工、研磨加工、熱処理、表面処理、試作品から量産品まで

■主な取引先（納入先）

医療・介護、理美容機械メーカー、郵便・特殊産業機械メーカー、環境エネルギー、一般産業機械メーカー

住 所／〒578-0953
東大阪市本庄
2-1-25

T E L / 072-962-0361
F A X / 072-965-0669

創 業 / 昭和26年6月

設 立 / 昭和26年6月

資本金 / 1,000万円

従業員 / 18名

<http://www.kinki-ind.co.jp/>